

令和7年度紀伊半島移住プロモーション事業業務委託

紀伊半島移住プロモーション事業実行委員会

番号	質問	回答
1	過去に制作されたアセット類(ビジュアル、コピー、動画、webサイト等)で、本年度のプロモーションに活用可能なものはあるか。あわせて、活用が前提となる素材があれば示していただきたい。	別添資料「これまでの取組」をご覧ください。 活用が前提となる素材は想定していません。
2	対象ターゲットとして「都市部在住の20～30代」と明示されているが、この設定に至った背景や、調査・分析結果等があればご教示いただきたい。	ターゲット設定にいたった背景は、仕様書5に記載のとおりです。
3	イベントに関するKPIや成果指標(来場者数、アンケート回収率など)は、委託者側で明確に定めているのか。それとも提案者の裁量で設計してよいか。	イベント来場者数の指標は、仕様書6(2)ウに記載のとおりです。 その他のイベントに関する指標は、最優秀提案者が決定後に実行委員会と協議の上決定する予定です。
4	仕様書「イ」に該当するLPやWebサイトについて、既存サイトの活用を前提とするのか、新設を想定しているのか。	イベントの詳細情報を記載したWebページについて、新しくドメインを取得して新設するか本業務のターゲットに合致するWeb媒体を使用するかは提案の範囲とします。 なお、提案の媒体を採用するかについては、最優秀提案者が決定後に実行委員会と協議の上決定する予定です。
5	委託上限額(約1,034万円)に対して、プロモーションとイベント施策の費用配分は提案者の裁量で設定してよいか。	本業務の背景と目的を鑑みて、提案者の裁量で設定してください。 なお、費用配分についても、最優秀提案者が決定後に実行委員会と協議の上決定する予定です。
6	「紀伊半島で起業や一次産業に挑戦しているゲストとの交流を通じてロールモデルを提示する」とあるが、移住体験者・ゲストの選定は提案者側で行ってよいか。候補者リスト等があれば共有してほしい。	企画提案の時点で、移住経験者やゲストの提案を提案者に求めてはいませんが、イベントの内容の検討を行ううえで移住経験者やゲストの選定が必要であれば提案してください。 なお、実行委員会との協議によっては、提案者が示す移住経験者やゲストを採択するとは限りません。
7	「新しい挑戦の場」として期待される定性的なストーリーや、描いてほしい将来像の具体的なイメージがあれば示してほしい。	具体的なストーリーは設定していませんが、仕様書に示すターゲットが本事業を通じて紀伊半島に興味もち、事業終了後も紀伊半島の三県に対して移住相談や現地の訪問などを行い、自らの希望の暮らしや働き方に向けた準備を行うことを期待しています。 紀伊半島で希望の暮らしや働き方を手に入れた後は、自らの取組を通じて主に都市部から紀伊半島と関わる人を増やせるような活動を行っていただけることをイメージしています。
8	各県(奈良・和歌山・三重)で、本事業に期待する成果や重点分野に違いがある場合は、県別に示してほしい。(例:和歌山は「一次産業にもっと力を入れたい」等)	本事業の重点分野(=本事業のターゲット)は仕様書5に記載のとおりであり、3県で共通としています。 本事業は3県の枠を超えた紀伊半島全体の魅力を発信するという趣旨にご留意ください。
9	プロモーション施策において、委託者側で活用を推奨している媒体があれば教えてほしい。	特段推奨している媒体はありません。 本業務の背景や目的を鑑みて提案してください。
10	過去のイベントについて、①好評だった企画、②得られた成果、③課題を教えてください。	別添資料「これまでの取組」をご覧ください。
11	「食を楽しめる場に」とあるが、使用を希望する食材や、地元産品活用に関する要望があれば示してほしい。	具体的な食材や地元産品の活用については、最優秀提案者が決定後に実行委員会との協議の上決定する予定です。